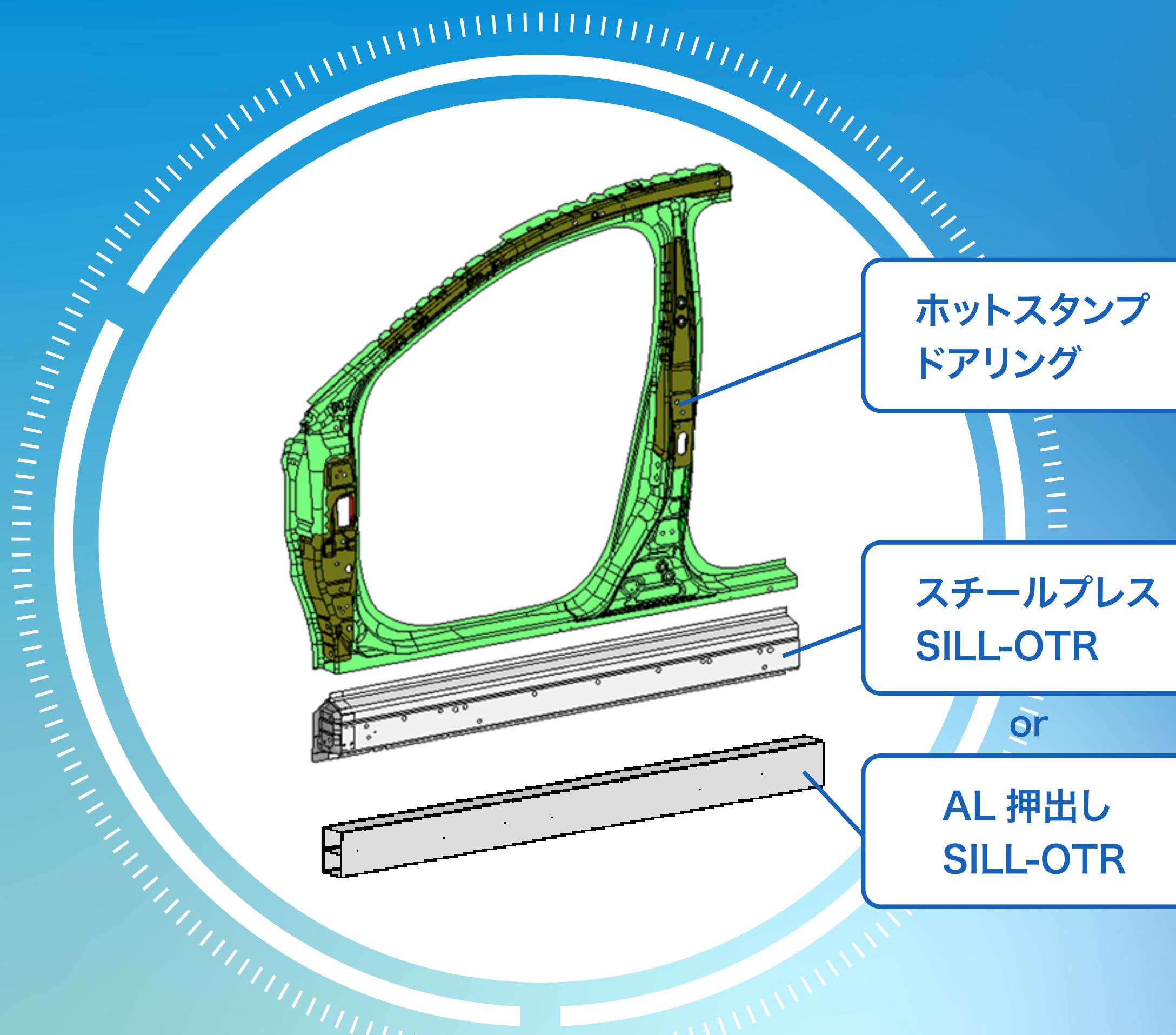


適用部品例

・ドアリングの一体化技術の応用



「BEV・HEV,ICE の車系を跨ぐ、次世代ドアリング構造の最適解」 ～SILL OTR (サイドシル・アウター) の別体化によるドアリング共通化の実現～

電動化の加速に伴い、BEV と ICE・HEV ではバッテリー保護要件の差から、車体下部構造への要求が大きく異なります。

当社の提案する「新型ドアリング構造」は、SILL OTR (サイドシル・アウター) を別部品化することで、ドアリング本体の共通化を実現しました。

導入メリット

- ✓ **車系を問わない共通化**
骨格のメイン部分を共通化し、開発コストと投資を大幅削減。
- ✓ **変化への柔軟性**
バッテリー積載量や保護要件の変化に対し、サイドシル側の調整のみで対応可能。